

# 灌注処理で作業時間を短縮!!

## きゅうり・ピーマンの害虫防除は定植前に



野菜灌注用殺虫剤

# ベリマーク®SC

powered by

CYAZYPYR®  
ACTIVE INGREDIENT



### 灌注処理で発揮できるベリマーク®SCの優れた特長

吸汁性害虫へ  
約3~4週間の長期残効

\*トマト黄化葉巻病、きゅうり黄化えぞ病

速やかな吸汁活動の停止と、ウイルス病の媒介抑制効果\*

ミツバチ、マルハナバチへの高い安全性  
(翌日放飼可)

### 灌注処理タイミングと処理例

#### 【おすすめの処理タイミング】

育苗期後半で、苗がまとまっている時 ➡ 短時間で多くの苗に処理できるので効率的です。  
(鉢上げ後、購入苗到着時など)



粒剤処理よりも省力的!

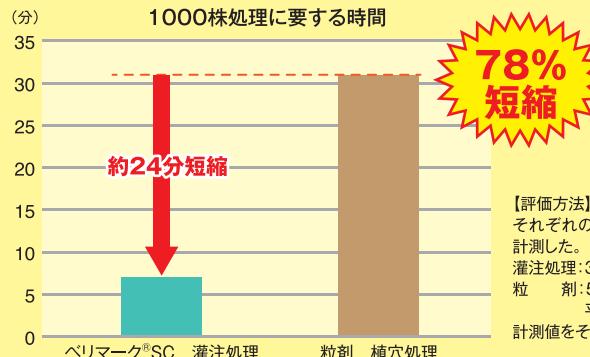
灌注  
処理

粒剤  
処理

VS

#### ① 処理時間短縮

定植前にまとめて薬剤処理する事ができ、より短時間で処理を終えることができた。  
→ 作業分散により、本圃での薬剤処理がなくなり作業時間が短く済んだ。

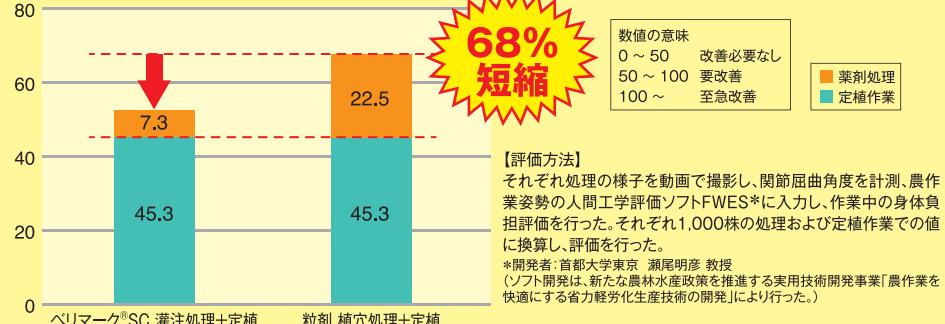


78%  
短縮

#### ② 処理時の身体への負担軽減

灌注処理は、腰を屈める時間が少なく、身体負担を軽減できた。

評価値 (/1000株) 薬剤処理+定植の作業負担



68%  
短縮

【試験概要】 2016年デュポン株式会社 社内試験 場所: 宮城県白石市 处理日: 8月22日 作物名: きゅうり

【試験方法】 灌注処理: はす口ジョウロ(容量10L)を用い、キュウリ苗300株を処理(400倍、25mL/株)した。その後、定植作業を行った。  
粒剤処理: 粒剤(2g/株)を定植作業と一緒に植穴処理した。

## ■適用害虫と使用方法(適用表より一部抜粋)

2019年7月現在

作物名	適用害虫名	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
きゅうり	ハモグリバエ類 アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類	400株当り 25ml	400株当り10~20ℓ (1株当り25~50ml)	育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの処理は1回以内、 定植後の散布は3回以内)
ピーマン	アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類						
トマト ミニトマト	アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類						
メロン すいか	ア布拉ムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類						
なす	コナジラミ類 アブラムシ類 アザミウマ類 ハモグリバエ類 ネキリムシ類						1回

その他の適用作物:いちご、ほうれんそう、キャベツ、はくさい、ブロッコリー、カリフラワー、レタス、非結球レタス、ねぎ

## ■適用害虫



## ■薬液の希釈方法(果菜類)

25mlの薬量を10~20ℓの水に希釈して、400株に均一に撒ききるだけ!



●ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。 ●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

©2019 FMC Corporation. All Rights Reserved. FMC、FMCロゴ、®を付した商標は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。

